

之等の更正は極めて精確に記象紙を讀み取らうとする際には是非しなければならいものと思ひます。併し之等の表は震波が正弦波であると假定して勘定されたものである事を注意する必要があります。

## 雜報

○岐阜縣稻葉郡鵜沼村寶積寺山崩壞に關する報告 標記個所山崩しに關しては當所にては當所より單に降雨の爲地盤の弛みて生じたる結果巨巖の墜落したる結果鳴響を發したるものにして何等地震等に關係なき旨を一般に發表致し置候處新聞紙上誇大に報導せられたる結果各方面より問合せ來る向も有之爲念調査を逐げ候に付其概要を録し及御報告候也

### 記

一、位置 稻葉郡鵜沼村寶積寺山

高山線鵜沼驛を東北に距る約十丁該線路の西方にある高約四百尺の山

一、崩壞の實況 本月十七日午後九時頃該山頂より大巖石（約二千貫）の墜落に續きて可成り大なる數十ヶの岩石、無數の小岩及土砂崩れて落下し其途に當る小なる樹木の挫折倒伏しつゝ、大なる鳴響を發し巨巖の鐵道線路の上に墜落せる爲破砕して之を取除けたり。

一、崩壊の面積 山頂にては市約十間なるも山麓に至るに随ひ幅を増して約三十間となり面積概算約一千坪と目測せらる

一、鳴響の到達區域 鳴響の原因は前記の如く單に岩石土砂の崩落之をあるを以て其到達區域八十數町内外に止まりし

一、山崩の前の石に現はれたる異象 十五日午前には稍多量の降雨一（岐阜にて六十耗）ありたるの外地震地響等なし

一、山の構造地質同山は殆赤土と巖石の細片を以て生成せられ其間處は巨岩を交ふるのみにて之を登攀するに崩壊ヶ所以外の處にても足趾の踏むの所砂石迂り落ちて登るに困難を感じる程なり、全山まばらに小さき松木或は雜木の生成を見るのみ

一、崩壊の原因 前記の如く大體に於て崩れ易き状態にあり今回墜落の岩石は同山頂にありて東に向つて急傾斜の所に位し幾多の歲月の間不安定の位置に置かれ墜落の限界點に達し居りしものが十五日の降雨により附近の砂土が水に飽滿せられて地盤が弛みし爲終に墜落の機會を與へ土砂と共に三時に落下せしものなり

尚落下の跡を見るに今後の豪雨により迂り減りたる部分或は附近の砂土も落下する事あるべし。

本年六月に入りて當所簡單微動計感したる地震左の如し。

内

有感覺地震、 二回（十六日午後四時三十分廿五秒）  
（二十日午前六時二十八分五十秒）

但馬地震の餘震と見らるゝもの 三回

近地地震 六回

遠地地震 二回

鹿島沖方面と見らるゝもの 一回（岐阜測候所）

○音響報告 昨六日午前十一時五十八分十七秒當所に於て可なり大なる爆破の如き異常なる音響を聞きたり、其方向は或者は北と云ひ或者は東と云ひ不詳なるも縣下の北部なる撫養方面にては尙ほ一回午後一時にも聞きたり云へるを以て洲本、和歌山等に照會したる處何れも聞かずとの回答にして種々取調べたるも不明なり、地鳴かとも考へられ當時直に微動計を調べたる所何等の異狀なく疑惑を懷き居れり

（徳島測候所）

○正誤 驗震時報第一卷第二號一〇三頁左端より二行目クエンチドロパーク式となるは「クエンチドロパーク式」の誤り。